

[春号]

November
- March

惠泉女学園 大学報

Keisen University
2008.4**5月24日(土) 惠泉スプリングフェスティヴァル2008****① 学園ニュース**

卒業式・学位授与式

留学を終えて

はしかの流行にご注意

② 就職状況報告

教員採用合格

③ 惠泉女学園生**④ 大学20周年記念**

チャペルのカリヨン

スプリングフェスティヴァル

⑤ 惠泉トピックス

ケータイ川柳コンテスト

新キャンパス

**大学開学20周年
記念式典**5月24日(土) 10:15~11:30
チャペルにて

新しい春を迎えて

春がやってきました。

待ち遠しくてワクワクしていた人もいれば、また春になったのかとちょっと憂鬱になっている人もいることでしょう。しかし、春は、そうした私たちの気持ちとは関係なく、ふたたび巡ってくるのです。

東アジアの人たちは、古来からこうした季節の循環を「確かなもの」の象徴と考えてきました。四季は、一定の時間がたてば確実に訪れるものであり、また春は春らしく、夏は夏らしくと、それぞれの季節にふさわしいものが確実にあると考えてきました。そして、それぞれの季節に適さないでき事が起きることを畏れ、起きれば身を慎んでそれ以上悪くならないことを願って過ごしてきたのです。

このように東アジアの人たちは自然の変化に対する鋭敏な感覚を日常生活のなにげないでき事のなかで育んできました。この感覚は、日常生活から、文学や芸術、さらには人間関係・社会関係にいたるまで、あとあとあらゆる人間の行動にまで広げられ、そこに共通する原理して理解されてきたのです。

ところで、さきほどのような季節の循環に関する時間感覚は「らせん」的だと説明されています。これは、西洋の時間感覚が「直線」的であるという理解に対するものなのですが、グルグルと循環しながらも、もとの位置に戻るのではなく、少しづつ変化するという感覚です。とすれば、春がふたたびやってきたとしても、それは前と同じ春ではなく、新しい春なのです。

惠泉女学園大学のキャンパスには自然の変化を気づかせてくれるものがたくさんあります。めだたず、さりげないものですが、それはかならず新しい発見につながります。これから大学生活のなかで、こうした繊細で鋭敏な感覚をぜひ育んでほしいと願っています。



惠泉女学園大学人文学部長
澤井啓一

<<< News

2007年度卒業式・学位授与式

2007年度の恵泉女学園大学卒業礼拝と卒業式・学位授与式が下記のとおり行われました。

3月12日(水)	卒業礼拝(チャペルにて)	奨励:大口邦雄学園長
3月13日(木)	卒業式、学位授与式(B301にて)	
午前10時~	国際社会文化学科・人間環境学科、 大学院人文学研究科	
午後 2時~	日本文化学科・英米文化学科	

卒業生数:398名 大学院修了生:2名

卒業式では讃美歌302番、聖書朗読(ヨハネによる福音書16章33節)、祈祷に続き、証書・学位記授与が行われました。学科主任教員から一人一人の氏名が読み上げられ、卒業生、修了生は木村利人学長から学位記を受取ります。卒業生代表の寺岡久美子さんと防村清美さんの答辞の後、「学燈ゆずり」が行われました。

「学燈ゆずり」とは、恵泉女学園の創立以来受け継がれてきた

ランタン(学燈)を、卒業生から在学生に引き継ぐという行事です。恵泉女学園の創立者である河井道は著書『わたしのランタン』の中でこう記しています。「わたしは、わたしのランタンをかかげてきた。時が来ると、それは別の手へと引き継がれて、さらに先へと運ばれていくであろう。わたしたちの魂の「太陽」が、この世界の面(おもて)から、うれいと闇の跡を一ひらも残さず追いはらうまで、このランタンが、芯を切りとのえられ、燃えつづけていくように、わたしはそれのみを願っている。」

卒業式の「学燈ゆずり」は、これに由来するものです。



卒業生から在学生へ

<<< News

1年間の留学を終えて

日本に来たばかりのとき、話すことも通じなかつたし、相手が言つていることもよく分からなくて困りましたが、その後少しずつ生活に慣れ、友達もできたので分からぬ時は辞書で調べたり、日本人の友達に聞いたりしました。みんなが日本語を教えてくれました。

授業は日本語で学んで、難しくてもいい経験になりました。中でも文学の授業は一番大変だと思いました。古い言葉や昔の漢字があるので、あまり理解できないと思ったが、友達がもう一度説明してくれたのでよく分かるようになりました。書道に興味があるので、日本に来て書道の授業をとりたいと思っていました。書道はいろいろ

な形をして、字は難しかつたが、練習して、だんだん良くできるようになったで、おもしろく、楽しい授業でした。

今は、日本に来たばかりの時に比べ、聞くことや話すことがよくできるようになりました。しかし、もっと日本語を自然に話し、もっと上達させたいと思う。私は、将来日本語を使って、タイと日本の架け橋となる仕事をして行きたいと思っています。

(人文学部 留学生 ラッカナーポーン・マノーカム)



作品の前で

「麻疹(はしか)の流行に注意」 —健康管理室から—

皆様ご存じのように昨年の春に高校、大学を中心に麻疹が大流行しました。今年もすでに各地で患者の発生が報告されています。予防にはワクチン接種が有効です。これまでに予防接種を受けているか、感染したことがあるかどうかを母子手帳などで確認してみてください。記憶が不確かな場合、また接種を受けていても10年以上経過している場合も同様に、かかりつけ医と相談の上予防接

種を受けることをお勧めします。教育実習、体験実習などの際に、感染歴も予防接種歴もない場合には実習が出来なくなることがあります。

感染した場合にはたとえ症状が軽くても登校は許可されません。新学期が本格的に始まる前に是非早めに対処をしておいてください。

学生定期健康診断

大学では学校保健法に基づいて、4月に定期健康診断を行っています。
必ず全員受診してください。
(健診期間:4月9日~11日)

就職活動その第一歩

年明けから本格的に動き始めた新4年生の就職活動（就活）も、3月には説明会・セミナーがピークを迎えてます。2月の学内企業セミナーへは、のべ1000人以上の学生が参加し、人事担当者の説明を熱心に伺う姿が連日見られました。

GWを過ぎる頃には内定を獲得する4年生の姿が目につくようになります。就活のピークを迎える4年生に向けて、1年・2年・3年の皆さん、熱いエールを送りましょう。そんな就活真っ最中の4年生からアドバイスがありました。

新3年生の皆さんには、3年になって開講される「インターンシップ入門」や秋学期の「就職ガイダンス」を受講しましょう。就職に向けての情報集め・準備に最適で、就活のペースメーカーの役割を果たしてくれるとのこと。

また1年生・2年生の皆さんには「簿記講座」「TOEIC講座」などのキャリアデザイン科目*を積極的に履修しましょう。キャリアデザイン科目は「今は未だ就職は先の話」そんな気持ちを少しだけ就職に向けてくれます。社会に出てから役立つ道具の使い方をちょっぴり練習して、それを使う仕事ってどんなものがあるのかを想像する、これが就活の第一歩になります。



学内企業セミナー：就職活動を終えたばかりの先輩からは体験に基づくアドバイスも

それから4年生の先輩が1・2年生の皆さんに特に伝えてほしいと言っていたことが・・・。漠然とでも将来就きたい職業があったら早くから少しづつ準備を。例えば航空関係の仕事ならTOEICスコアアップ、マスコミ関係なら本を読んだり文章を書いたり。あるいは就職活動を離れて「4年間自分はこんなことを一生懸命やりました」そういえることを今から計画立て取り組んでみましょう、とのことです。4年生からのアドバイスを大切に今から始まる1年間を過ごしてみてください。

春になり新学年を迎える皆さんのが実りある大学生活を送られることを就職進路室でも応援しています。

・就職進路室はD棟1階の左側から。

*キャリアデザイン科目

将来の進路や自分自身を考えること、それに向かって計画を立てること、仕事や社会人として必要な技術・資格を習得し意識を高める。これがキャリアデザイン科目です。1年から4年までの間に履修ができますので、計画を立てて科目を選択してください。

詳しくは、学生生活ハンドブックやwebシラバスを参照してください。

キャリアデザイン科目

インターンシップ入門・インターンシップ
企業実践講座
ビジネスマナー
一般常識講座
簿記講座
TOEIC入門講座・TOEIC講座
TOEFL英語
情報科学応用A・B
プレゼンテーション技法
ビジュアルコミュニケーション
コンピュータグラフィックス
Webデザイン
情報化社会論
コンピュータシステム概論

「教員採用試験に合格、私の心構え」

私は正直、自分が東京都の教員採用試験に合格したと知ったとき驚いた。そんな私が、教員採用試験を受けるときや今後のために、特に心掛け、普段から実行していることが三つある。

一つ目は、「自分の好きなことや興味のあることばかりをやるのではなく、他のことにも目を向けてみること」一つのことを追求し、極めることは大切なことであるが、どうしても視野が狭くなってしまうときには他のことにも目を向け、視野を広く持つよう心掛けている。

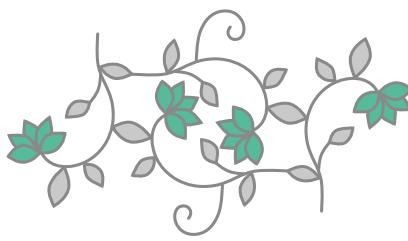
二つ目は、「人の意見にも耳を傾けてみること」自分の意見を持つことは大事なことであるが、人の意見を聞くと自分にはない考え

を知ることができる。また、人の話を聞くことによって知識が増え、コミュニケーション能力も身につく。これは、日常生活では勿論だが、社会に出たときに役立つのではないかと思う。

三つ目は、一番大切なことであるが、「困ったときには一人で悩まず、諸先生方や職員の方々、一緒に頑張っている仲間など周りの人に相談してみること」である。私は周りにいるたくさんの人に話を聞いてもらい、貴重な意見を聞くことができた。また、たくさん励ましもらった。私はこのように、周囲の人々のお蔭で教員採用試験に合格できたと思っている。先生方、職員の皆さん、一緒に教職課程を学び、いつも励ましてくれた仲間に感謝している。

(湯座さんは東京都公立学校に赴任予定)

(日本文化学科2008年3月卒業生 湯座美穂)



「大学で学び地域で教える ～児童英語サークルKIESの地域貢献～」

KIES顧問・英語コミュニケーション学科教授
岩佐玲子

児童英語サークルKIES（キーズ：恵泉稲城英語教育研究会）は、大学で学んでいる英語を生かして地域貢献するために結成された学生の団体です。

KIESは2007年4月に発足し、メンバー30名が稲城市内6つの小中学校に定期的に訪問して英語を教える経験を重ねてきました。1年間でのべ約100時間の授業を担当したKIESメンバーの大半は、教員免許取得を目指す2,3年生です。

大学では学生として学び、地域では指導者として子どもたちに英語を教えるKIESメンバー達は、英語の絵本の読み聞かせを得意とします。

それは、KIES方式の英語活動の後半には必ず絵本の読み聞かせが組み込まれているからであり、少人数のグループ分かれて子どもたちと絵本を楽しむ「心で学ぶ」英語を旨としているからです。

KIES方式は、歌、ゲーム、絵本の読み聞かせを中心とし、英語活動も芸術的であることを目指しています。心で学ぶ英語活動によって、今後一人でも多くの子どもたちが、友達と出会うという目的のために英語を使えるようになることを願いながら、KIESメンバー達は新年度の英語活動のために新しい絵本の読みの練習とレッスンプラン作りに勤しんでいます。



« Report

2007年度UC DAVIS 英語現地実習が終了

この英語現地実習は、英語コミュニケーション学科1年生を対象とした研修で、アメリカ・カリフォルニア州立大学ディヴィス校の語学コースを履修します。同大学の広大なキャンパスで学び、4週間のホームステイで多文化、多民族であるアメリカ社会への理解を深めています。

今年は33名の学生が参加し、2月5日から34日間の日程を終え、3月9日に無事に帰国をしました。全日程の引率をされた、同学科の阿川敏恵先生からの実習報告です。

「このプログラムの参加者は、渡米前に様々な課題に取り組んだりオリエンテーションに参加したりして、語学力と異文化に対する理解の両面で準備を行いますが、いざ現地に行って見ると思いのほか言葉が通じなかったり、カルチャーショックを受けたりで思うようにいかないこともあります。しかしそんな困難を乗り越えて強くなつてゆく学生達をいつも頼もしく感じます。

今年は特に、英語学習に対する意欲を強くして帰国した学生達が多かったようです。研修中にヨセミテ国立公園を1泊2日で訪れましたが、宿泊先のホテルの部屋で4,5人の学生達は、夜を徹して英語学習について語りあつたそうです。また、研修中に英語学習に関する質問や相談を多く受けたのも印象的でした。帰りの飛行機の中でも、数人の学生達と数時間に渡って、英語学習や将来について話し合いました。今後もこの研修を通じて一人でも多くの学生が、視野を広め、自分を見つめる体験をしてくれるよう、サポートしてゆきたいと思います。」

梨花女子大学校語学研修に参加して

人間環境学科1年
岩切みなみ

研修に参加し、韓国をより身近に感じることができた。クラスには“韓国語を学ぶ”という同じ目的で様々な国から集まって、一つの言語を通して交流できたことがとても面白かったし、授業は少人数で参加しやすく、対話中心に行つたことも韓国語を早く上達するのに大きく役立った。

語学だけでなく文化や歴史に触れることができたことも良い経験になった。韓国の伝統的な舞台を鑑賞し、伝統的な工芸も作ることができたことはいい経験だった。また、韓國のお正月を体験し、食文化も毎日の食事で体験できた。ソデムン刑務所に行き、日韓の歴史にも触れる機会があったが、これは、自分自身が日韓の歴史についてどれだけ知らなかったかということを知るきっかけとなった。

私にとってこの研修は一つ一つが新鮮で、狭かった自分の視野を広げる一歩となった。また、韓国の魅力を発見でき、さらに韓国語を上達させたいという意欲にも繋がった。今回の研修で経験したことを今後に生かせるよう努力し、更なる韓国語の魅力を発見していくたいと思っている。

2007年度春期海外プログラム

プログラム名	期間	行先	参加学生数
フランスFS	2/1~2/8	フランス	8
タイFS	2/1~2/9	タイ	4
沖縄FS	2/1~2/26	沖縄(八重山)	8
韓国語学研修	2/3~2/26	韓国 梨花女子大学	4
UC Davis英語現地実習	2/5~3/9	アメリカ(ディヴィス)	33
タイ国際ワークキャンプ	3/16~3/26	タイ/メーホンソン県	24

行事報告

2007.11-2008.5



大学開学20周年記念

恵泉女学園は、河井道がキリスト教信仰の上に立ち1929年に設立し、2009年には創立80周年を迎えようとしています。また、恵泉女学園大学は1988年に人文学部（日本文化学科と英米文化学科）が開学されました。今年は大学開学20年を記念して、記念式典が行われます。

日時 2008年5月24日（土）
10:15～ 大学開学20周年記念式典・献鐘式（場所：チャペル）
11:30～ 名誉教授称号授与式（場所：チャペル）
11:50～ 記念パーティ・卒業生懇談会（場所：L棟ラウンジ）

恵泉女学園大学の歩み

1988年 4月● 恵泉女学園大学人文学部
(日本文化学科、英米文化学科) 開学
1997年 4月● 平和文化研究所開所
1998年 4月● 人文学部国際社会文化学科開設
2001年 4月● 人文学部人間環境学科・大学院人文学研究科開設
2002年10月● 多摩キャンパスオルガン奉獻記念演奏会
2003年 4月● 園芸文化研究所開所
2005年 4月● 人間社会学部を設置、2学部5学科に再編
(人文学部：日本語日本文化学科・
英語コミュニケーション学科・文化学科、
人間社会学部：国際社会学科・人間環境学科)
2007年 2月● キリスト教文化研究所開所
4月● 大学院に人間社会学研究科を設置

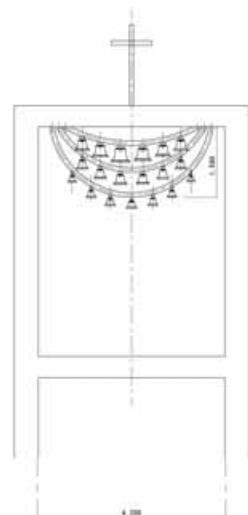


大学開学の頃のキャンパス

チャペルの塔にカリヨンが設置されます

2008年度、大学開学20周年を迎えるにあたり、創立者河井道先生の片腕として宗教音楽、英語、国際平和教育を担当し、河井先生亡き後、副学園長としてお働きになった河合ハナ先生の遺贈により、カリヨンが設置されることになりました。カリヨンとは、1～2オクターヴの比較的小さなベルを有し、ハンドベルのようにメロディーや楽曲を奏でることができます。現在フランスのパッカール社にて、2オクターヴ19個のベルが製作されています。5月24日にお披露目され、以降、礼拝やキリスト教関連行事、コンサート、結婚式の開始時に、風にのって軽やかにその音が奏でられます。

また、2007年8月には、荒井献元大学長からのご寄付を元に、チャペル棟にエレベーターが設置されています。



（カリヨンのデザイン）

恵泉スプリングフェスティヴァル2008

5月24日（土）10:00～17:00

今年も風薫るキャンパスで、盛りだくさんのプログラムを用意しています。皆様のご来場をお待ちしています。

プログラムの予定

プログラム名	時間
オープニングセレモニー	9:45～
マイポールダンス	12:45～
ガーデニング相談コーナー	
カリヨンコンサート、ハンドベルコンサート	
ケータイ川柳コンテスト公開審査 コンテストの応募は裏面をご覧下さい。	13:00～
Study on Movie「白バラの祈り」「ゾフィー・ショル、最後の日々」	13:00～
花芸安達流二代主宰 安達とう子によるデモンストレーション「若葉風」	13:45～
講演会「センス・オブ・ワンダー： 環境の時代の開拓者レイチェル・カーソンの遺言」 講演者 上遠恵子氏、鈴木善次氏	14:45～
リービ英雄氏講演会「越境する言葉と文化」	15:00～
庄野真代コンサート「国境なき楽団の縁と平和の音語」	16:00～

この他、ガーデンツアーやオーガニックカフェ、ミニバザー、大学の長期FS展示・発表、公開講座作品展など催し物がいろいろあります。受験生のための第1回オープンキャンパスも同時開催します。

★上記は予定ですので、詳しい時間等はお問合せや当日のチラシをご覧下さい。大学のホームページでもお知らせします。

★多摩センターからスクールバスをご利用いただけます。お車でのご来校はご遠慮下さい。

恵泉トピックス

「ケータイ川柳コンテスト」 オリジナル川柳を投稿しよう!

5・7・5の短い言葉の中に、笑いや涙、ユーモアやウットを凝縮させて作る川柳。投稿作品の中から優秀作を選び、恵泉女学園大学スプリングフェスティヴァルの公開審査コンテストで発表します。

応募は大学のホームページ、又は下記の専用投稿サイトへアクセスしてください。

専用投稿サイトURL <http://m.keisen.jp>



テーマ 「イマドキ女子」

応募資格 女子高校生部門（現役女子高校生）、一般部門（どなたでも）

応募締切り 5月22日（木）

賞品 最優秀作、審査員特別賞、佳作にギフト券

公開審査日時 5月24日（土）13:00～ 恵泉女学園大学にて

ミニ講座

「ケータイの中の文学」武田徹（評論家、恵泉女学園大学人文学部教授）

コンテスト審査員

松村正直（歌人）、姜信子（作家、恵泉女学園大学客員教授）、澤井啓一（恵泉女学園大学教授）、武田知子（恵泉女学園大学人文学部講師）

新キャンパスだより

グラウンドを初め、周辺の樹木の剪定などを行ない、環境が変わりました。校舎は現在どのように利用するか、学園全体で検討中です。その間、テレビドラマの撮影などに施設提供しています。使用する状態になるにはいましばらく期間がかかるようです。



■ 編集後記

今年の桜の開花はいつ？桜前線のニュースが気になります。入学式に間に合うか？散ってしまうか？できれば桜満開の入学式を迎えてみたいですね。昼休みに一本杉公園までちょっと散歩するといいリフレッシュになります。



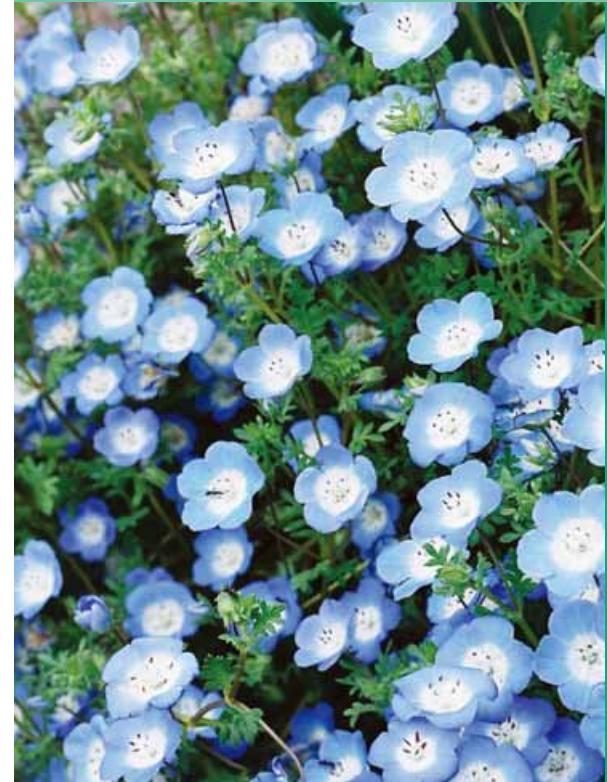
恵泉女学園大学

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1

TEL: 042-376-8211 FAX: 042-376-8218

（ホームページ）<http://www.keisen.jp/univ/>

（mobile）<http://m.keisen.jp>



春の花 ネモフィラ

* Nemophila menziesii

キャンパスに入ると可憐に咲いたネモフィラが私たちを出迎えてくれます。無垢な赤ちゃんの目のような澄んだブルーをしたその花は、「Baby Blue -eyes」という英名がついています。4月～5月の暖かい春の日だまりの中、空を見上げて目を見開いているかのようにもみえます。（園芸準備室）